

第51回 宇部市廃棄物減量等推進審議会議事録

- ・日時 平成27年 8月3日(月) 10時から12時
- ・場所 宇部市ときわ湖水ホール ミーティングルーム
- ・出席委員

(会長)	関 根 雅 彦	木 下 昇
	渡 壁 正 英	前 原 佳 子
	足 立 美 智 子	竹 中 敏 恵
	鈴 木 春 菜	千々松 智 恵
	甲 斐 裕 紀	河 村 竜 太
	岩 本 輝 行	森 田 律 子
	井 関 祐 子	

- ・欠席委員

(副会長)	城 田 久 岳	稲 沢 満 義
	茂 山 守	

- ・事務局

市民環境部長	石 部 隆
市民環境部次長	秋 田 浩 二
廃棄物対策課長	長 岡 哲 雄
環境保全センター施設課長	黒 瀬 寛 文
廃棄物対策課長補佐	本 多 光 代
環境保全センター施設課長補佐	向 上 正 美
環境保全センター施設課長補佐	師 井 康 文
廃棄物対策課資源循環推進係長	上 田 康 次 郎
廃棄物対策課資源循環推進係主任	平 山 加 代 子
廃棄物対策課資源循環推進係主任	内 海 里 美

- ・資料

- 1 平成26年度総括表
- 2 平成26年度の3Rの主な取組実績
- 3 一般廃棄物処理基本計画(後期計画)改定方針
- 4 指定ごみ袋制度の見直し

- ・次第・議事録

- 1 市民環境部長あいさつ
- 2 会長あいさつ
- 3 議題
 - (1)平成26年度のごみ処理実績等について
 - (2)宇部市一般廃棄物処理基本計画について
 - (3)その他

<p>会長</p>	<p>それでは、質問をいただく前に、基本計画の話もありますので、私のほうから簡単に説明しておきたいと思います。現在の基本計画で、平成33年度に向けての目標値というのがあります。1人1日当たりのごみ排出量が840g以下に設定されており、そこに向かって、ごみを減らしていかなければいけない。</p> <p>また、リサイクル率は40%以上ということで、現状と目標の乖離が明確に表れています。</p> <p>今年度の基本計画見直しにかかる議論の中で、平成33年度の目標値まで、どうしたら向かっていけるのか、市民が納得できるようにまとめていきたいと思っております。では、何かご質問ありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>平成33年度の目標値に向けてということですが、私の町内は高齢化が進んでおり、週3回の燃やせるごみの排出量もかなり減っております。ステーションかごの中の量があきらかに減っています。そこから減量というのは、これ以上何をしたらいいのかという疑問があります。</p> <p>また、市は段ボールコンポストを推奨していますが、どれくらいの方が使用されていますか。私の町内も2年前、説明会をしてもらいましたが、その際は5軒実施しておりましたが、現在は2軒です。私もしておりますが、やはり面倒です。前にも言いましたが、戸建てが多いので庭に「ぼかし」を入れて行っている方が多いです。啓発努力はされていると思いますが、普及はしていないと思います。</p> <p>町内では、水切りもして草木も天日干しをして、これ以上どうしたらごみを減らせるのかと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>先程、3Rの取組説明で段ボールコンポストの回数の報告がありましたが、その結果どうなったか、効果がどれだけあったかということがわからないと判断のしようがありません。議論を有効にするためには、難しいとは思いますが判断につながるような資料作りをして欲しいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>総括表の資源物の集団回収の減ですが、この減分が古紙回収の増になっていると理解してよろしいでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>集団回収の減についてですが、少子化の影響もあると思いますが、子ども会の実施が年々減っているように思われます。実際、団体数が減っております。昭和55年度から奨励金の制度が始まりましたが、一番多い時の団体数が549団体で平成26年度は336団体で実施となっております。よって、月一回の古紙の日に流れていると思います。</p> <p>一方で、新聞販売店や店舗も回収をしておりますので、一部はそちらに流れた可能性もあると思います。古紙回収分の増は158tで集団回収分の減は378tですので、集団回収分全部が古紙回収分に移動した訳ではないと推測されます。</p>
<p>委員</p>	<p>最近スーパーでの回収も多いと思いますが、その回収量は表のどこに入っていますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>スーパー等の回収量についてはこの表には反映されていません。</p> <p>よって、リサイクル率も本来なら資源物の回収ということで、カウントしたいところですが、反映されていないという現状でございます。全国的にも事業者の回収分は把握できていない状況であります。</p>

委員	数値にはでないが、実際にはリサイクル率にプラスされる訳ですね。ここ数年、店舗に出される方が多いような気がしております。
事務局	それから、紙製・プラスチック製の減ですが、分別実施以前から紙パック、トレイの回収はされていたので、店頭回収による減は考えにくいと思います。この減につきましては、一部には事業者の軽量化の努力もあると思いますが、やはり分別の品質が落ちて可燃ごみに流れているのではないかと考えております。
委員	収集ごみは減っていて、直搬ごみは増えていますが、直搬ごみの中に回収されているごみも入っていると考えていいのでしょうか。
事務局	ごみステーション収集分はすべて収集に入ります。直搬の中には事業所から持ち込まれるものと、家庭からの一時多量ごみがカウントされております。
委員	燃やせないごみはどこで処理をされますか。
事務局	燃やせないごみは収集直搬とも、リサイクルプラザで処理をしております。その中で金属類などは可能な限り回収し、資源化をしております。(資料1-1)総括表の3段目、リサイクル率の他金属ということで表示しております。燃やせないごみの中でも金属部分、銅線、アルミなどはリサイクルされておりますので、リサイクル率にもカウントされております。リサイクルできないものは埋立処分となります。
委員	1人1日当たりのごみ排出量を減らすことが目標と言われますが、リサイクルされているものも含まれていますよね。1人1人がごみを減らすというのは難しいと思います。生ごみ位かと思います。それ以外の古紙やペットボトルを減らすというのは不可能に近いと思います。目標値をごみ排出量すべてのごみにするよりも、リサイクル分を除いて目標を立てた方がいいのではないかと思います。
会長	この目標値をどうやって定めたのかというのがあります。確かではないということですが、この値を達成している市町村があり、日本で1番ではなく10番目位を目指した数値がこの位だということです。やはり、その上位の市町村の成り立ちもありますし、どのようなやり方で行っているのか学ばないといけないと思います。単に全国10番目を目指そうというのではなく、皆が納得できるように進めることが大切だと思います。今、言われたリサイクルを外すという考えも確かにあるかと思いますが、1人1日のごみ搬出量を減らすというのは大切な目標値なので、それはそれで置いておくべきかなと思います。別にリサイクル率もありますので。ただ、目標値の適切さ、たどり着く道筋に関しては、今後、資料を出していただき、納得をして進めていきたいと会長として思います。
委員	事業系のごみについては、景気が良くなると多くなるというお話もあったと思いますので、市民のモチベーションを高めるには、家庭ごみの1人1日当たりのごみ排出量と、より身近な指標にしたほうが年別の傾向など把握できて良いのではないかと思います。
会長	重要なご指摘ではないでしょうか。基本計画見直しの中で目標がでてきますので、検討していただければと思います。
委員	事業系のごみとはどういったものですか。例えば、病院からのごみもありますか。
事務局	食堂、ショッピングモール、事業所から出た生ごみなどが入ってきております。

委員	前、言われていたと思いますが、病院からの紙おむつも入ってきていると聞いた記憶があるのですが。
事務局	紙おむつも事業系のごみになります。
委員	ということはこれから増える一方ですね。
事務局	<p>事業系のごみで例えば、レストラン食堂等で市民が注文して食べ残したものがごみになるという事もありますから、事業者だけでなく市民1人1人の協力というものが事業系ごみ削減にも大事な取組になっております。</p> <p>宇部市も県の食品ロス削減推進協議会の委員になっております。例えば、適量の注文をして食べ残さない、家庭では調理くずを出さないなど、色々な取組をされております。事業者にそういった取組をどんどん行っていただくとか、市民の説明会ではそういった事業者の取組に協力していただくなどお願いをしている次第でございます。</p>
委員	<p>宇部市は段ボールコンポストに対して、とても固執しているように思います。知り合いの何名かは、うじ虫が湧いてしまい、処理に非常に困ったと聞いております。学校では市の方が来られフォローされているそうですが、個人の家はなかなか来ていただくのは難しい。知り合いは3回やって全部失敗したと聞きました。私も1回やりましたが、冬場だったので、コバエが少しで済みましたが、土の温度を上げるのが非常に難しい。ここ数年、段ボールコンポストと言われていたわりには、周りは誰もやっておりませんし、辞めたという方が多いです。また、費用もかかります。段ボールコンポスターダーさんに聞いたら、普通の段ボールでもできるが、気をつけないといけない点もあると。費用もおさえて、簡単にできる方法で普及しやすい方向にもっていけないのかなと思います。何のメリットがあってここまで言い続けるのか不明です。</p> <p>他に、スラグがここ数年、使用頻度が減ってきていると聞いております。宇部市は大学や大企業もありますので、もっと研究していただき、スラグのリサイクル率を上げてほしいなという希望がございます。</p> <p>最後に、廃食油ですが、精製するのにかなり費用がかかると聞いておりますが、どれ位かかるのか、お聞きしたいと思います。</p>
事務局	<p>廃食油については市の方で処理しておりません。店頭回収された後、処理業者がリサイクルしております。段ボールコンポストについては、個人個人に対応するのは難しいかもしれませんが、市の出前講座のメニューにもなっておりますし、自治会でなくとも少人数のグループでも対応し、フォローしておりますので、そのPRをもっとしていき、利用していただくように思っております。</p>
委員	段ボールコンポストでなくても、庭でも生ごみを処理できますとかいう指導はされないんですか。
事務局	<p>水切りや生ごみの発生抑制の啓発もしておりますが、廃掃法の大前提は自らなるべくごみを処理するというので、各家庭で色々な工夫をしていただくのが一番だと考えております。それでも処理しきれないごみは、色々な方法で少なくし、収集処理していきたいと思っております。生ごみの発生を少なくしていただくようお願いしながらも、出てしまった生ごみは、家庭の事情もあるかと思いますが、畑に入れて肥料にするとか、また、その中で段ボールコンポストも一つの手段ではないかと思っております。</p>

	ただ、先程言われたように使い方によっては、なかなか上手くいかないと聞いておりますので、講習会やフォローなど更に啓発していこうと思っております。
委員	段ボールコンポストはどの位の方が、利用されていますか。
事務局	平成26年度は794基販売されておりまして、複数基使用される世帯もあると思いますが、これを実際のごみ減量に換算しますと、1基で約30kgのごみを処理できますので、約24tの減量となります。こういった段ボールコンポストを使用させていただくのも一つですし、その前段の水切りなどの取組も重要だと考えております。
委員	私も段ボールコンポストを使用しており、今4回目ですが、うじ虫は1回も出たことはないですし、段ボールもそのまま使用し、基材だけ購入しております。先程、減量効果を聞きましたが、努力に対して効果が少ないと思っております。ただ、やらないよりはやった方が良くと思います。また、小学校での段ボールコンポストの実施は非常に有意義だと思っております。
会長	色々なご意見があると思いますが、議題(2)の説明をいただいて、後程、全体に関して質問をいただければと思います。では「宇部市一般廃棄物処理基本計画について」事務局から説明をお願いします。
事務局	<p>審議会資料 「宇部市一般廃棄物処理基本計画(後期計画)改定方針(案)」資料3-1、「策定スケジュール(案)」資料3-2に基づき説明</p> <p>【概要】</p> <p>＜開始年度＞ ＜中間目標年度＞ ＜計画目標年度＞ 平成22年度 → 平成27年度 → 平成33年度 ※今年度は平成33年度の計画目標年度に向けた中間目標年度</p> <p>今後、市民アンケート実施(広報うべ9月号配布時、全戸配布予定 : 9月1日から中旬まで)</p> <p>市民ワークショップ開催(15名程度:10月上旬2回開催)</p> <p>審議会での計画(案)の検討</p> <p>パブリックコメント実施(1月中)</p>
会長	本日は計画の方針・スケジュールの説明をしていただきました。次は11月に審議会を開催し、その間、市民アンケート・ワークショップが行われています。この目的の1つは広く市民からアイデアをいただくという事があると思います。来年の2月の審議会は計画が出来上がっており、それに対する審議ということなので、実質、私達が協議できるのは、11月と本日となります。本日、私達が協議できるのは、例えば、アンケートに有効な意見を引き出すために、こういう情報を伝えるべきとか、示唆していただければ、11月の審議会にはその結果が反映されるという事ですが、計画全体やアンケートなどについて意見をいただけますか。
委員	前回のアンケート内容を見せていただけたら良かったと思います。可能なら今回のアンケートを市の方で提示していただいて、それに対し、委員から意見をいただくという方が良いのではないかと思います。

事務局	アンケートは広報うべ9月号に併せて配布します。8月下旬までに作成すれば可能ですので、それまでに案を作成し、委員の皆様にご意見を伺いたいと思っております。
会長	他市等でごみ減量を上手に行っている方法を調べて、その方法を情報提供することもあるでしょうし、宇部市の現在の状況と平成33年度の目標が、どういう状況かということも知らせすべきではないかと思えます。
委員	ワークショップで色々議論されると思いますが、目標値の設定について、どうやってこの数値に設定したのかがわからないと議論が進まないと思えます。 アンケートは住民票をベースに配布されると思いますが、大学生は住所を変更していない人が多いですが、ごみは排出しております。学生についてもアンケートが出来る方法を考えていただければと思えます。 他にも、質問数や記述式が多すぎますと回収率が下がると思えますので、回収率を意識していただき、一方で新しい施策をこちらが提示してしまうと市民からの発想が減ってしまうと思えます。難しいとは思いますが、設問数の制約と柔軟な設問内容で作成していただければと思えます。
会長	アンケートをする事によって、市民のごみ意識のきっかけになる仕掛けも少しいた方がよいのではないかと思えます。例えば、分別がおろそかになってきている事が市民に感じていただける記述をすれば、ただ意見を聞くだけでなく、効果も期待できるのではないかと思えます。
委員	コミュニケーションアンケートというもので「…についてご存じでしたか。」という文言を入れるだけで、その文面を読まないといけなくなりますので、効果はあると思えます。
委員	アンケートの目的ですが、中間目標（平成27年度）が1人1日当たり930gで、今現在、まったくそこに達していない。それを平成33年度には840gに持っていきたい、そのためにどうしましょうかというアンケートですか。それとも現状どうしましょうかというアンケートですか。
事務局	基本的には平成33年度の目標値に向かって、色々な取組を行っていく中で、今の施策でいいのか、また更なる施策のアイデアはないのかという事で、現状を改善しながらも平成33年度の目標に近づけるように、また達成できるためにも色々な意見をいただきたいと思っております。
委員	今の基本計画でたくさんの普及啓発の項目がありますが、それなりにこの5年間実施してきたと思えますが、効果があったようには見えません。それを改定しようという事であれば、同規模、同環境の他市の有効な施策を調べ、5個程度の施策を記し、市民に選択さすという方法でないと、何かありませんかでは意見は出てきません。抑止は難しいと思えますので、市民がどこまで負担できるか、努力できるかという大きな内容のアンケートの方が良いと思えます。 また、自治会未加入者や学生にもアンケートをお願いしたいと思います。一部のマネーのない人によって、自治会も非常に迷惑していますので、是非、全市民に届くようにしてほしいと思えます。

委員	先程の段ボールコンポストの件ですが、うじ虫が湧いてしまうという事ですが、始められる前にちゃんと説明もされていると思いますが、それでも湧いてしまうというのは、啓発方法をもう少し考えた方が良くと思います。せっかくやる気があっても、嫌気がさしてしまうと思います。
委員	計画の中には「市民・事業者・行政の協働により」とありますが、スケジュールの中に事業者は入ってなく、事業者の意見が取り入れられてなく、関わりが見えにくいと思います。 もう1つ、上位計画にはライフスタイルの変革や技術革新の方向とか記載されていると思いますが、この計画も、ごみの出し方だけでなく、ライフスタイルの変化による改進黨、そういったごみ以外の内容も出した方が良くのではないかと思います。
会長	一部のマナーの悪い人や学生への教育も大事な視点だと思います。アンケートを通じて、周知できるようにということと、先程から何回もでてきています段ボールコンポストについて、「知っていますか」と聞くのもチャンスかだと思います。後、事業者の意見は聞かないのかということですが、それはどうお考えですか。
事務局	当審議会にも事業者の方がいらっしゃいますので、その方々に意見をお聞きするのはもちろんですが、一定量排出の事業者については、資源化減量化計画書を提出いただいております。今年度、233事業所に提出を求めておりまして、回答も順次きております。また、そういった事業所にはお伺いする機会もあります。計画書には減量取組等も記載されておりますので、計画に反映していきたいと思っております。
委員	コンビニなどは分別せずにごみ箱に捨てたり、アパートなどでは事業者と契約して分別せずに出していると聞きますが。
委員	分別されていないごみは自治会に出しても市が持って行かないから、結局、コンビニで捨てたりとか、事業系のごみ箱に入れたり、不法投棄をしたりします。マンションが増えると、事業系ごみが増えだしてくると思います。
事務局	不法投棄については情報があれば、すぐ動けるようにしております。また、悪質なケースは警察と連携して動いております。ステーションで明らかに事業系のごみとわかる場合は直接、指導も行っております。やはり、転入者や学生で来られた方というのは、適正なごみの分別は難しいと思います。繰り返し、繰り返しの指導啓発が重要と考えております。今、ステーションパトロールもしておりますが、分別不良が目立ってきておりますので、しっかり啓発をしていこうと思っております。
委員	確かに事業系のごみが増えている現状があります。ひとつにはライフスタイルが変化していますので、作るよりは買った方がよいということがあると思います。コンビニ弁当やスーパーの惣菜購入を減らすことは難しいと思います。今、「作りすぎ」が問題視されていますので、例えば、作りすぎて余った物がどれ位あるとか把握した方が、数値には表れないけれど、こういう隠れた量というのがあると思います。
会長	やはり、議論するための情報はしっかり出していただきたいですね。前回の審議会で、ごみ袋の有料化があったと思いますが、アンケートの中に出てきますか。
事務局	現計画にも記載しておりますので、重要な施策の中の一部という位置づけになってくると思います。

会長	<p>例えば、紙製容器包装の分別不良が目立ってきているという事ですが、確かに、捨てる頻度も少ないし、やり方も面倒くさい。前、話に出てきましたが、通販で容器がどんどん増えてきて、少ない排出頻度だと、ごみが追いつかないと感じる方もいるという話もありました。可能な範囲で分別の簡易化もセットで考えていかないといけないのではと思いました。こういう話も含めて市民の皆様から意見をすくい上げるアンケートにさせていただければと思います。本日の議題は以上ですが、事務局の方で「その他」で何かありますか。</p>
事務局	<p>審議会資料 「指定ごみ袋制度の見直しについて」資料4に基づき説明</p> <p>【概要】</p> <p>現計画で「ごみ処理有料化の検討」で掲載しているが、改定でも家庭ごみの減量の施策として、指定袋制度の見直しを施策の一部として掲載予定。</p>
会長	<p>指定袋に関しては、今後の基本計画の見直しでも議論していくことになるかと思えます。本日の議題はこれで終了させていただきたいと思えます。事務局の方に進行お返しします。</p>